

「森の芸術祭 晴れの国・岡山」 主催イベント
「バイオマス・マクベス」 関連トークセッション

岡山県真庭市では、1993年より地元事業者が主導してバイオマスエネルギーの活用に取り組んできました。この取組は、全国的にも先駆的な事例として注目され、多くの視察者が訪れるほどとなっています。「森の芸術祭 晴れの国・岡山」では、真庭市の長年のバイオマスへの取組を広く知ってもらうために、演劇プロジェクト「バイオマス・マクベス」を、11月17日に上演いたしました。

カーボンニュートラルな社会を実現するためには、自治体や企業の取組のみならず、いかに社会の価値観として、その重要性を共有できるかが重要です。「バイオマス・マクベス」の取組を紹介しながら、この課題をともに考えます。

関龍彦 / 講談社『FRaU』編集長兼プロデューサー

1987年、株式会社講談社入社。2010年より4年間、『FRaU』編集長。2017年より現職。2018年12月、女性誌としては世界初の”一冊丸ごとSDGs特集号”を刊行し、話題に。以降、20冊以上のSDGs特集号刊。

中村彰徳 / (株)ステラーグリーン 代表取締役社長 兼 CEO

2024年に(株)ステラーグリーンを設立。地域の自然資源を価値あるものに変換することで、持続可能な地域社会の構築を実現することを目指し、森林カーボンプレジットの創出の支援や買取販売などを行う。

永井希依彦 / デロイト トーマツ リスクアドバイザー マネージングディレクター
デロイト トーマツ グループの芸術文化・富裕層ビジネスのサービスラインである「Deloitte Art Finance」プラクティスの日本のリーダー。文化芸術を起点とした経営戦略・新規事業立案等のアドバイザーサービス提供を主導。

長谷川祐子 / 「森の芸術祭 晴れの国・岡山」アートディレクター

金沢 21 世紀美術館 館長 / 東京藝術大学名誉教授 / 国際文化会館アートデザイン部門プログラムディレクター。キュレーター / 美術批評。

本橋仁 / 家を渉る劇 企画者

建築史家、博士（工学）。金沢 21 世紀美術館 レジストラー。

主催 | 「森の芸術祭 晴れの国・岡山」 実行委員会

企画 | 家を渉る劇 / 本橋仁、黒田瑞仁、渡辺瑞帆

企画協力 | 株式会社ステラーグリーン

問合せ先 | 「森の芸術祭 晴れの国・岡山」 実行委員会事務局

086-226-7843 (平日 9 時 -17 時)

関龍彦

『FRaU』編集長

中村彰徳

株式会社ステラーグリーン

永井希依彦

デロイト トーマツ

長谷川祐子

「森の芸術祭 晴れの国・岡山」アートディレクター

本橋仁

家を渉る劇

都市と森を紡ぐあらたな共生
循環の輪舞

日時 | 2025年2月21日(金)

13:30—15:00 (13時開場)

場所 | 勝山木材ふれあい会館

参加費 | 無料

岡山県真庭市三田 131

定員 | 25名 (先着順)

申込 | 以下の QR コードより
お申し込みください



撮影 瀬尾恵司